



2018年3月1日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

平成29年12月7日と平成30年1月25日、保団連中央要請行動が開催された。12月7日には、「診療報酬の引き上げを求める医師・歯科医師国会内集会」が開催された。また、1月25日には、「2018年診療報酬改善・保険で良い歯科医療の実現を求める署名提出集会」が開催された。三重協会から鶴飼副会長が両日に参加した。

12月7日

診療報酬の引き上げを求める国会内集会

議員15人が決意表明

12月7日、来年の診療報酬改定率を巡り緊迫した情勢の中、保団連主催の「診療報酬の引き上げを求める医師・歯科医師国会内集会」に参加した。全国の協会・医会から約150人が集まり、自民党から共産党まで15人の国会議員が診療報酬引き上げに向けての決意を表明した。

この時期としてはかなりの参加で、診療報酬引き上げが皆にとってより一層切実な問題となっていると言える。各地からのフロア発言では、人件費の問題、歯科技工士の問題など、どこも厳しい経営努力をしながら日々の診療をしていることが報告された。特に人件費の問題では、安倍政権は「働く人の給料を上げろ」と言いながら、その原資となる診療報酬を引き下げるという二律背反の立場をとっている。また人件費以外の診療に関わる経費も高騰しており、診療報酬引き上げは喫緊の課題と痛感した次第であった。

集会に先立ち、県内および比例東海選出の国会議員へ要請を行った。今回は議員本人とお会いできたのは本村伸子衆院議員（共産）だけであったが、子どもの貧困と口腔崩壊、歯科技工士、院内感染対策などの問題を中心に懇談・要請を行った。

1月25日

保険で良い歯科医療の実現を求める請願署名

全国で31万筆を提出

北勢地方に大雪が降った1月25日、衆議院第1議員会館で開催された「2018年診療報酬改善・保険で良い歯科医療の実現を求める署名（以下歯科署名）提出集会」に参加した。主催は、保団連と「保険で良い歯科医療を」全国連絡会で、西日本が雪で新幹線の遅延など交通機関に影響が出る中、全国から約170人の参加があった。

会員の皆さんのご協力のもと昨年来取り組んできた歯科署名は、三重県で1836筆、全国で約31万筆となった。通常国会が始まり、歯科診療報酬が具体的に決められていくこの時期に必ず歯科診療報酬の改善に役立つよう、自民党から立憲民主党、希望の党、共産党など多くの国会議員に皆さんの思いを託すことができた。

ありがとうございました。

集会には、12月の集会に続き、いつもより多い20人の衆参国会議員が参加し、挨拶し、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、患者さんが、診療報酬引き上げや技工士の待遇改善、矯正治療の保険導入の自治体請願活動など歯科に対する思いをそれぞれに発言した。

集会に前後して、①さらなる患者負担増阻止、②医療改善には程遠い今回の改定率、③保険で良い歯科医療の実現の3項目を中心に衆参国会議員に懇談・要請した。議員本人にお会いできたのは井上哲士氏（参・共産・比例）、ほかは秘書対応となった。

また保団連理事として北海道3区選出の荒井聰氏（衆・立憲）とも懇談し、上記の3項目を中心に要請を行った。

（三重県保険医協会副会長・鶴飼伸）

以上